

# 樹医からのアドバイス (Vol.27)

～木の病の診断と治療～

出雲市樹医センター

樹医 勝部 治良

どうして木は病にかかるのでしょうか？なぜ木が病気になるのか、どのような治療をすべきか考えてみましょう。

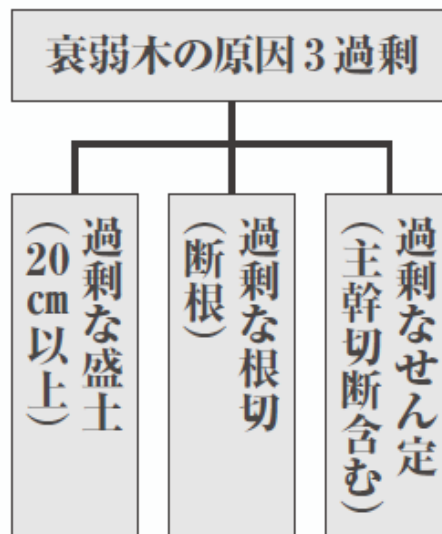
## 【樹木診断とは】

木の病の治療は、「樹勢があるかないか」「成長力が旺盛か否か」対象木を診る『樹木診断』から始まります。

樹木診断には、①容姿診断、②健康診断があり、見た目の異常と内部の異常を診断します。樹木診断の総合評価の結果は、《健全→やや注意→要注意→危険》の4段階に分けられます。

## 【衰弱木（病気の木）の原因は？】

都市部における多くの衰弱木を診断すると、3つの『過剰』が浮かび上がります。



この3つの過剰が絡み合い、木が衰弱し、さらに病気になりやすくなってしまいます。残念ながら、樹木が衰弱するこの3つの過剰は、全て“人為的要因”です。このことを理解し、不必要な“過剰”をやめ、健全な樹木を守りましょう。

## 【木の治療】

樹勢が弱った木の回復処置のひとつに、腐朽部（患部）の治療（外科手術）がありますが、最近では患部を直接治療する外科手術よりも、土壌改良や周囲環境の改善を優先する事例も増えています。腐朽進行の抑制と、樹勢回復が見込まれないと判断される外科手術はやめ、周囲環境の改善を試みるのがよいでしょう。